

2014年度 第2四半期(上期) 決算説明会

2014年 11月11日

 **不二製油株式会社**

目次

I 説明骨子	...	P.3
II 2014年度 上期実績	...	P.4
<ul style="list-style-type: none">・上期原料相場・決算概要(連結・単体)・地域セグメント別実績(連結)・営業利益増減分析(対前年)・事業部別実績(油脂・製菓・製パン素材・大豆たん白)		
III 2014年度 通期業績予想	...	P.15
<ul style="list-style-type: none">・下期原料相場・年間業績予想・地域セグメント別通期計画(連結)・事業部別業績予想(油脂・製菓・製パン素材・大豆たん白)・設備投資について		
IV 当社の取組について	...	P.27
<ul style="list-style-type: none">・2016年 グローバル経営体制確立に向けて・欧州 チョコレート事業・米国 油脂精製能力増強・関東工場 業務用チョコレート生産設備増設・USS工場 生産設備増強・大豆ルネサンス		
(参考)連結貸借対照表、連結キャッシュフロー計算書、連結指標	...	P.35

I. 説明骨子

上期

- 上期は増収、営業利益ほぼ横ばい。
業績予想に対しては売上高は未達であったが、営業利益は達成。
- 油脂事業営業利益はCBEの販売堅調等より業績予想
および前年実績を上回った。
- 製菓・製パン素材事業、および大豆たん白事業の営業利益は
原料高の影響を受け、業績予想および前年実績を下回った。

通期

- 通期は5月9日発表の業績予想を据え置く。

Ⅱ.2014年度 上期実績

Ⅱ. 2014年度 上期実績 上期 原料相場

原料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px;">2013 上期 使用 原料</div> <div style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px;">2014 上期 使用 原料</div> </div>	原料相場 価格レンジ	
		2013上期使用 (2012/10-2013/03)	2014上期使用 (2013/10-2014/03)
為替 (\$)		¥77.97～96.26	¥96.69～105.30 <div style="color: red; font-weight: bold;">↗ 円安</div>
パーム油 (原油・CIFロッテルダム)		¥62.72～82.78	¥79.25～103.25 <div style="color: red; font-weight: bold;">↗ 25%</div>
パーム核油 (原油・CIFロッテルダム)		¥60.21～81.82	¥85.09～147.65 <div style="color: red; font-weight: bold;">↗ 64%</div>

Ⅱ. 2014年度 上期実績 上期 原料相場

原料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px;">2013 上期 使用 原料</div> <div style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px;">2014 上期 使用 原料</div> </div>	原料相場 価格レンジ	
		2013上期使用 (2012/10-2013/03)	2014上期使用 (2013/10-2014/03)
大豆ミール (シカゴ 定期)		¥37.80~46.49	¥42.64~54.52 ↑ 15%
全脂粉乳 (USDA公表)		¥331.72~431.34	¥533.39~571.56 ↑ 45%
参考 ココアバター (ニューヨーク置場 ココアバター)		\$3,811~4,870/t	\$7,155~8,156/t ↑ 76%

Ⅱ. 2014年度 上期実績 決算概要（連結）

- 売上高は1,281億円で、対前年同期+95億円の増収。油脂、製菓・製パン素材、大豆たん白とも増収。
- 営業利益は64億円で、対前年同期ほぼ横ばい。
油脂は増益となったが、製菓・製パン素材・大豆たん白は原料価格上昇により減益。 （単位：億円）

連結		2013年度 上期	2014年度 上期	対前年同期		期初予想	対期初 予想比
				増減額	増減率		
売上高	油脂	448	496	+47	+10.6%	515	▲19
	製菓・製パン素材	545	591	+46	+8.4%	617	▲26
	大豆たん白	193	195	+2	+0.8%	201	▲6
	計	1,186	1,281	+95	+8.0%	1,333	▲52
営業利益	油脂	15	27	+12	+75.9%	19	+8
	製菓・製パン素材	43	35	▲8	▲18.8%	38	▲3
	大豆たん白	6	3	▲4	▲56.8%	4	▲1
	計	64	64	▲0	▲0.2%	60	+4
	営業利益率	5.4%	5.0%	▲0.4%	—	4.5%	+0.5%
経常利益		64	64	+0	+0.5%	58	+6
四半期純利益		39	47	+8	+20.3%	38	+9
四半期包括利益		89	48	▲41	▲46.2%		

注)本資料は全てのページで億円未満を四捨五入しております。

Ⅱ. 2014年度 上期実績 決算概要（単体）

- 売上高は694億円で、対前年同期+32億円の増収。
油脂、製菓・製パン素材、大豆たん白とも増収。
- 営業利益は35億円で、対前年同期▲14億円の減益。油脂は増益となったが、
製菓・製パン素材・大豆たん白は原料価格上昇により減益。

（単位：億円）

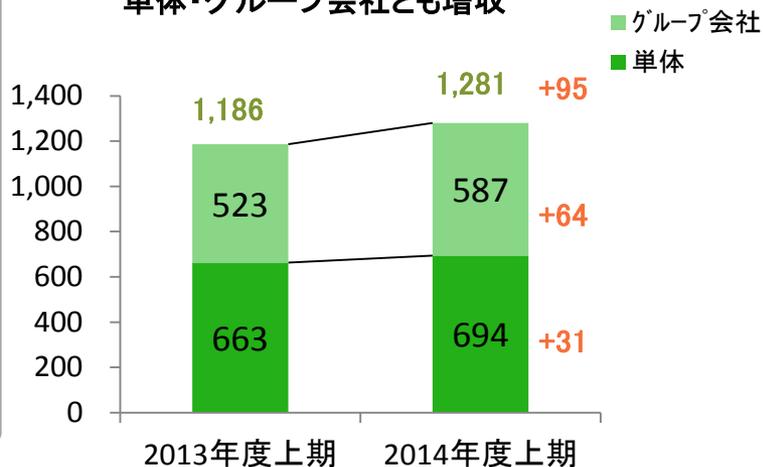
連結		2013年度 上期	2014年度 上期	対前年同期		期初予想	対期初 予想比
				増減額	増減率		
売上高	油脂	167	184	+17	+10.4%	178	+6
	製菓・製パン素材	341	354	+13	+3.8%	363	▲9
	大豆たん白	155	156	+1	+0.7%	157	▲1
	計	663	694	+31	+4.8%	698	▲4
営業利益	油脂	9	9	+0	+1.5%	7	+2
	製菓・製パン素材	35	23	▲12	▲32.6%	25	▲2
	大豆たん白	5	2	▲3	▲61.6%	3	▲1
	計	49	34	▲15	▲29.5%	35	▲1
	営業利益率	7.4%	5.0%	▲2.4%	-	5.0%	+0.0%
経常利益		51	36	▲15	▲29.4%	36	+0
四半期純利益		33	28	▲5	▲15.1%	24	+4

Ⅱ. 2014年度 上期実績 決算概要

単体/グループ会社別

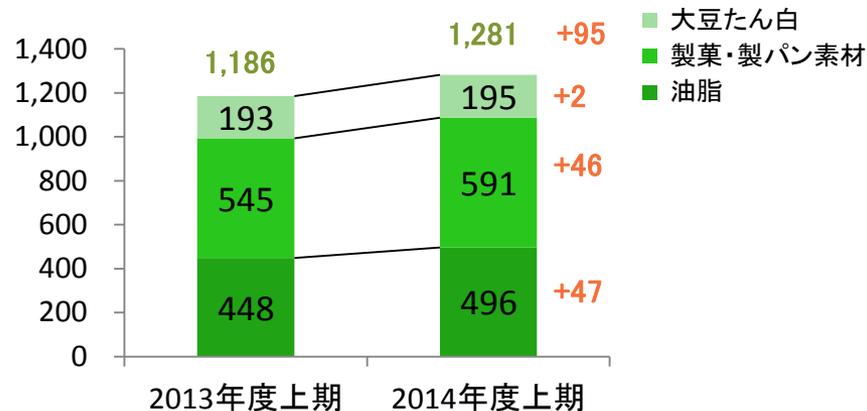
単体・グループ会社とも増収

売上高
(億円)



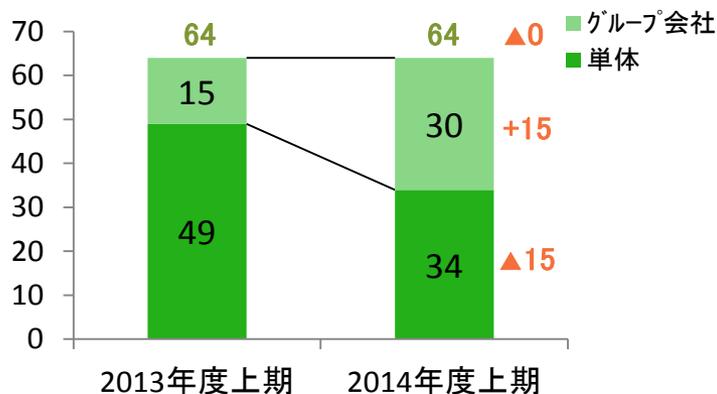
事業セグメント別

油脂・製菓製パン素材は増収、大豆たん白は微増にとどまる

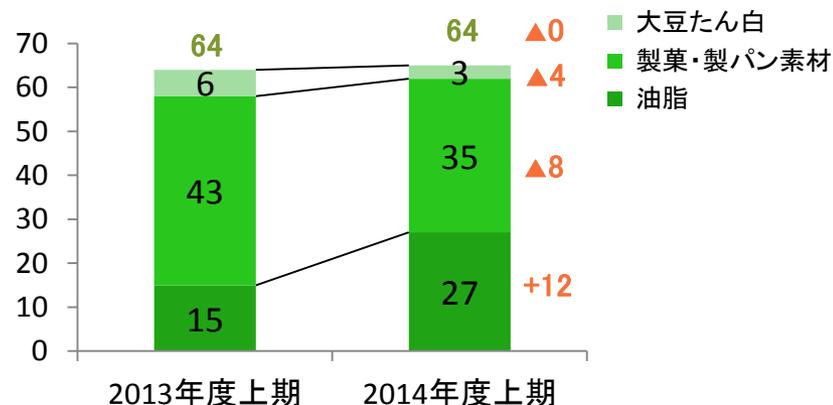


単体の減益をグループ会社増益でほぼカバー

営業利益
(億円)



製菓製パン素材・大豆たん白の減益を油脂の増益でほぼカバー

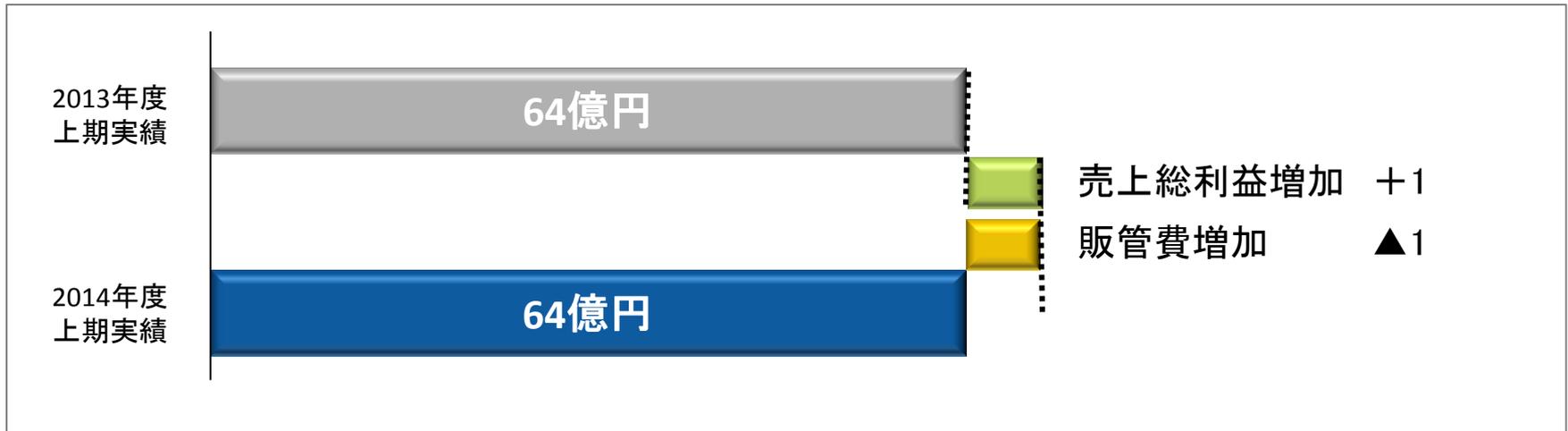


Ⅱ. 2014年度 上期実績 地域セグメント別実績（連結）

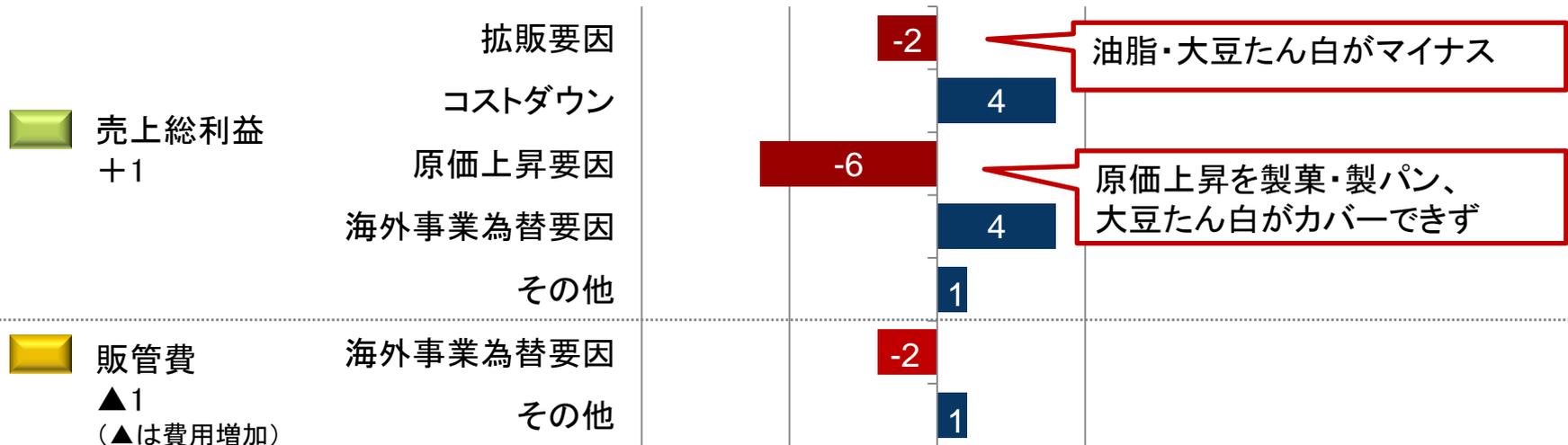
（単位：億円）

連結		2014年度上期		対前年同期		コメント
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	
日本	油脂	182	10	+17	+0	原料高による採算悪化
	製菓・製パン素材	475	26	+17	▲9	
	大豆たん白	175	2	0	▲3	
	計	833	38	+34	▲12	
アジア	油脂	124	5	+6	+0	日本向け調製品の採算悪化
	製菓・製パン素材	116	8	+29	▲1	
	大豆たん白	18	0	+2	▲0	
	計	259	14	+36	▲1	
欧米	油脂	189	10	+24	+9	CBE・加工油脂等販売堅調
	計	189	10	+24	+9	
連結調整		-	1	-	+3	
合計		1,281	64	+95	▲0	

Ⅱ. 2014年度 上期実績 営業利益増減分析（対前年）

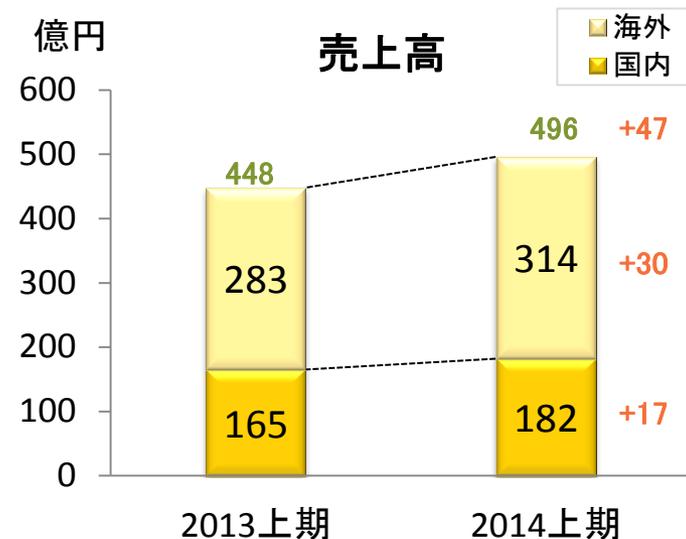


内訳



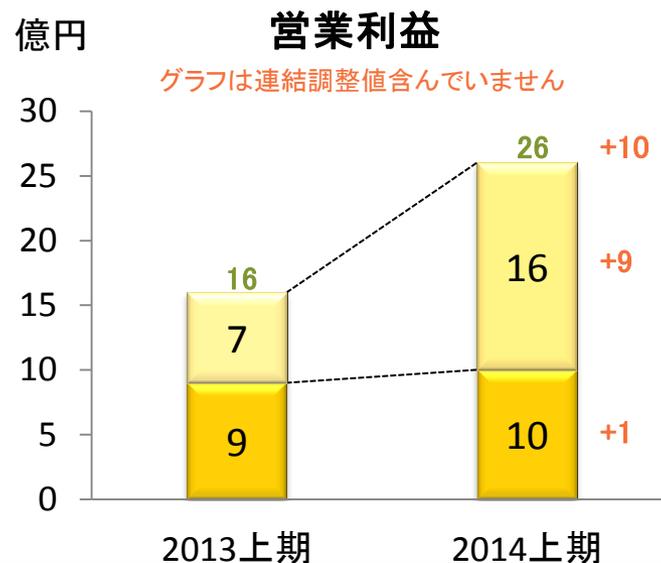
Ⅱ. 2014年度 上期実績 油脂部門

連結	2013年度 上期	2014年度 上期	対前年	
			増減額	増減率
売上高	448	496	+47	+10.6%
営業利益	15	27	+12	+75.9%



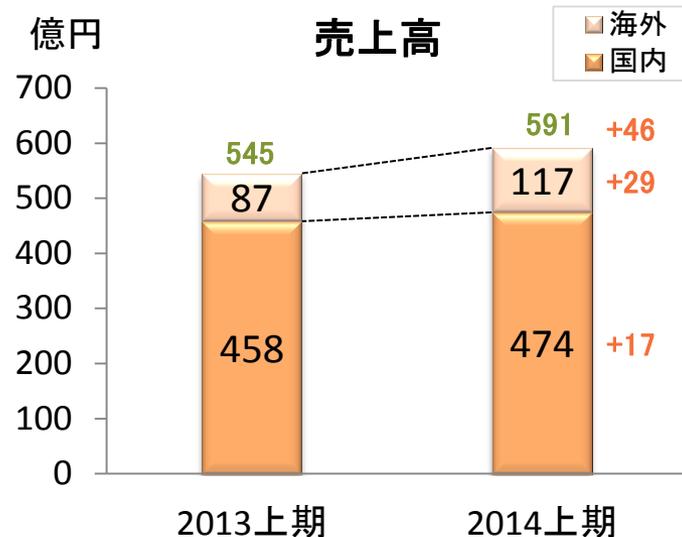
業績サマリー

- **国内**
加工油脂の販売数量が減少したが、チョコレート用油脂の販売数量増加および採算改善で補った。
- **海外**
チョコレート用油脂の販売数量増加 および 採算改善。加えて欧州の加工油脂販売堅調と円安による円換算額増加も寄与し、増収増益。



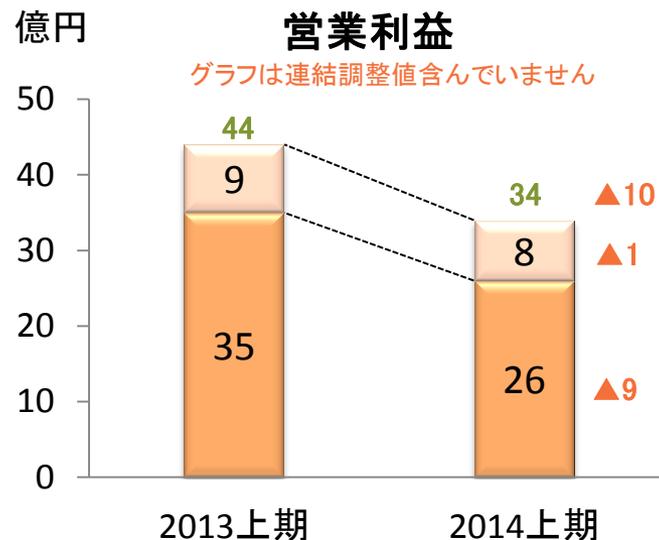
Ⅱ. 2014年度 上期実績 製菓・製パン素材部門

連結	2013年度 上期	2014年度 上期	対前年	
			増減額	増減率
売上高	545	591	+46	+8.4%
営業利益	43	35	▲8	▲18.9%



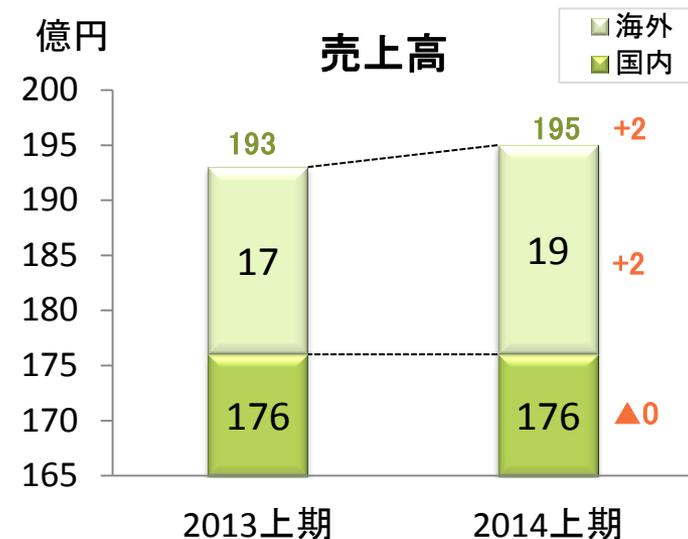
業績サマリー

- **国内**
業務用チョコレート、クリーム等の販売数量増加したが、原料価格上昇の影響で増収減益。
- **海外**
東南アジア・中国で販売数量増加したが、調製品の採算悪化が響き、増収減益。



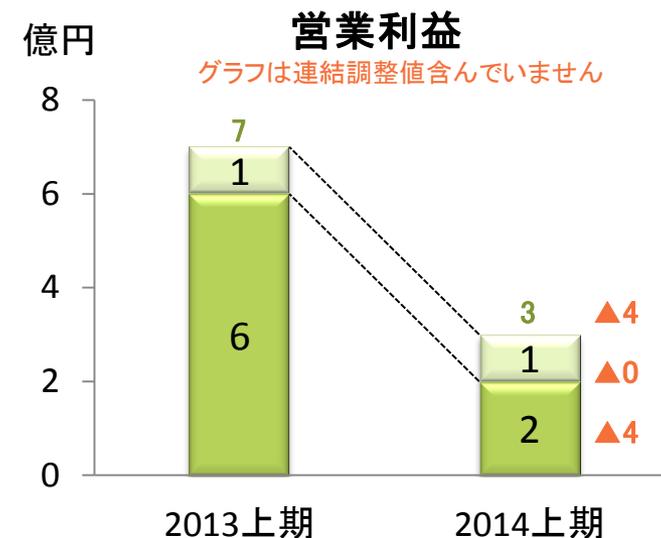
Ⅱ. 2014年度 上期実績 大豆たん白部門

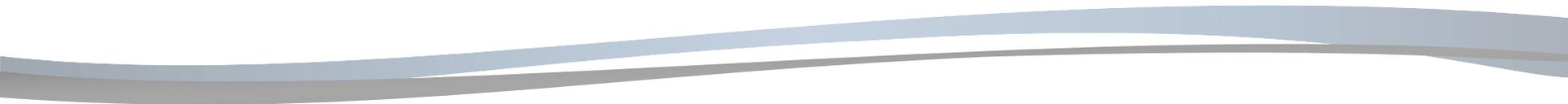
連結	2013年度 上期	2014年度 上期	対前年	
			増減額	増減率
売上高	193	195	+2	+0.8%
営業利益	6	3	▲4	▲56.7%



業績サマリー

- 大豆たん白素材は国内での販売数量が減少するも、中国での販売数量が増加し、増収。
- 大豆たん白機能剤は輸出・飲料用途が増加し増収、豆乳はUSS製法による新製品が寄与し増収。
- 部門全体では増収となるも、大豆たん白素材の原料高による採算悪化により減益。





Ⅲ.2014年度 通期業績予想

Ⅲ. 2014年度通期業績予想 下期 原料相場

原料	2013 下期 使用 原料	2014 下期 使用 原料	原料相場 価格レンジ	
			2013下期使用 (2013/04-2013/09)	2014下期使用 (2014/04-2014/09)
為替 (\$)			¥93.04～103.18	¥101.15～109.64 円安
パーム油 (原油・ CIFロツテルダム)			¥78.39～91.31	¥69.87～95.80 2%
パーム核油 (原油・ CIFロツテルダム)			¥76.60～96.58.	¥86.04～138.12 29%

Ⅲ. 2014年度通期業績予想 下期 原料相場

原料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 2013 下期 使用 原料 2014 下期 使用 原料 </div>	原料相場 価格レンジ	
		2013下期使用 (2013/04-2013/09)	2014下期使用 (2014/04-2014/09)
大豆ミール (シカゴ 定期)		¥40.82～58.56	¥36.81～57.09 ↓ 5%
全脂粉乳 (USDA公表)		¥506.69～545.77	¥375.27～559.06 ↓ 11%
参考 ココアバター (ニューヨーク置場 ココアバター)		\$4,093～7,433/t	\$7,618～8,594/t ↑ 40%

Ⅲ. 2014年度通期業績予想 年間業績予想

- 2014年5月公表の連結通期業績予想は変更していません。
- 但し、通期部門毎の内訳数値は、上期実績・現状を踏まえて変更しております。

連結		2014年度 年間予想	対前年同期		期初予想(5/9)	
			対前年	増減率	年間予想	対期初予想
売上高	油脂	1,083	+131	+13.8%	1,083	-
	製菓・製パン素材	1,329	+143	+12.1%	1,329	-
	大豆たん白	415	+23	+5.9%	415	-
	計	2,827	+297	+11.7%	2,827	-
営業利益	油脂	51	+6	13.3%	44	+7
	製菓・製パン素材	91	▲6	▲6.1%	94	▲3
	大豆たん白	8	▲2	▲20.0%	12	▲4
	計	150	▲2	▲1.6%	150	-

当期の第2四半期末配当金につきましては 1株当たり13円を予定しています(変更なし)。

Ⅲ. 2014年度通期業績予想

地域セグメント別 通期計画

(単位:億円)

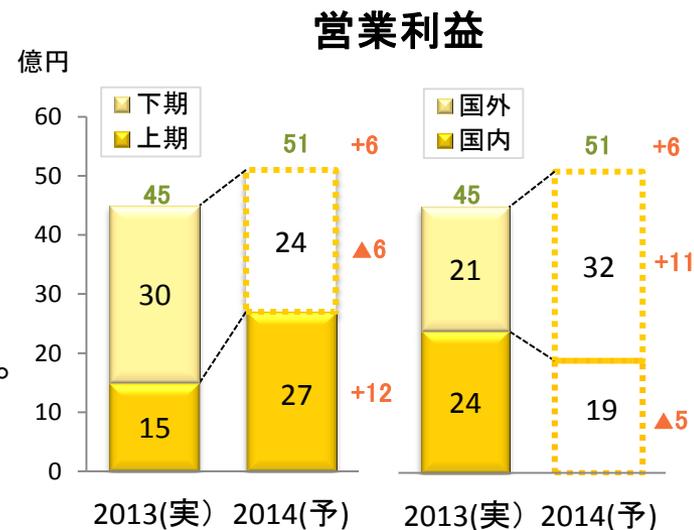
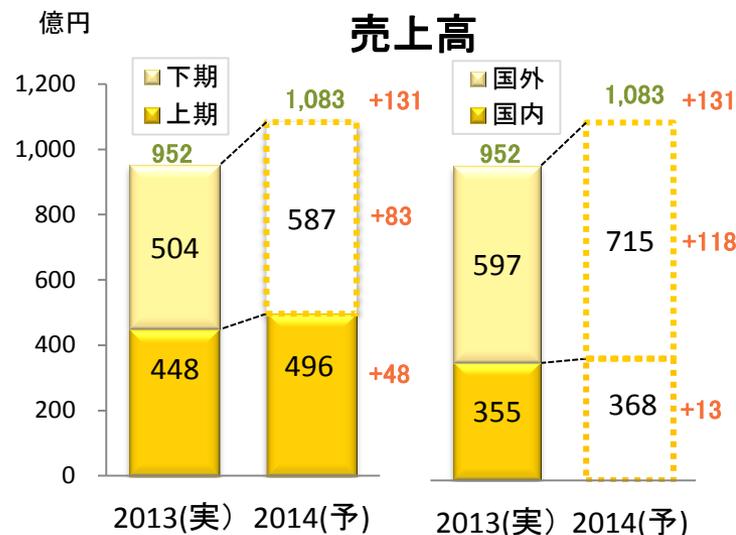
連結		2014年度通期予想 (11/7)		対前年同期		対期初予想 (5/9)
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	営業利益
日本	油脂	368	19	+13	▲5	-
	製菓・製パン素材	1,058	73	+77	▲6	+2
	大豆たん白	366	5	+12	▲2	▲1
	計	1,792	97	+102	▲13	+1
アジア	油脂	304	8	+61	▲2	▲3
	製菓・製パン素材	271	18	+66	▲2	▲5
	大豆たん白	49	3	+11	▲0	▲3
	計	624	29	+138	▲4	▲11
欧米	油脂	411	24	+57	+13	+10
	計	411	24	+57	+13	+10
連結調整			0		+1	-
合計		2,827	150	+297	▲2	-

Ⅲ. 2014年度通期業績予想 油脂部門

連結	2014年度			通期対前年	
	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	496	587	1,083	+131	+13.8%
営業利益	27	24	51	+6	+13.3%

下期

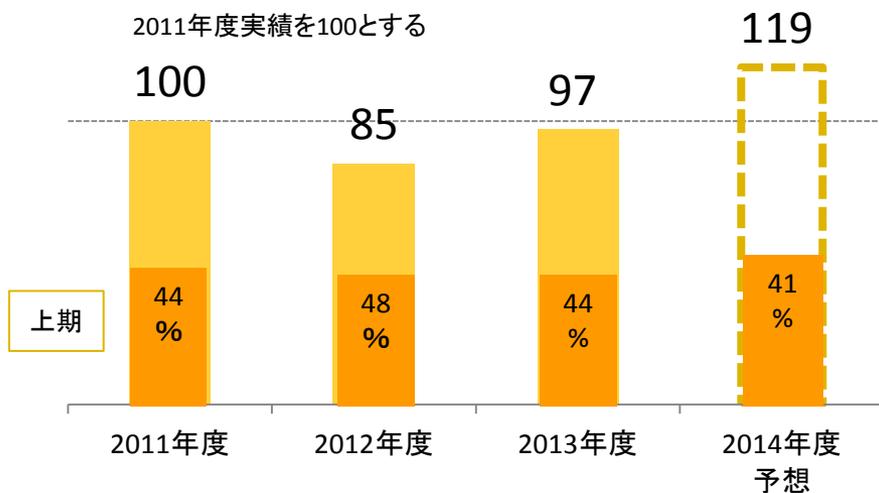
- 国内
ココアバター価格高止まりを受け、計画通りCBE拡販を進行させる。
ヤシミールは販売減。パーム調合製品の採算厳しい。
- 海外
ココアバター価格高止まりを受け、CBE販売は前年を上回る。
欧米では、健康訴求製品の販売好調。
アジアはパーム系製品の採算厳しい。



Ⅲ. 2014年度通期業績予想 油脂部門 下期ポイント【CBE】

- 2014年上期CBE販売数量(海外)は前年実績を上回った。計画に対する進捗率は41%となった。
- 2014年上期のCBE販売価格(海外)は概ね計画通り。

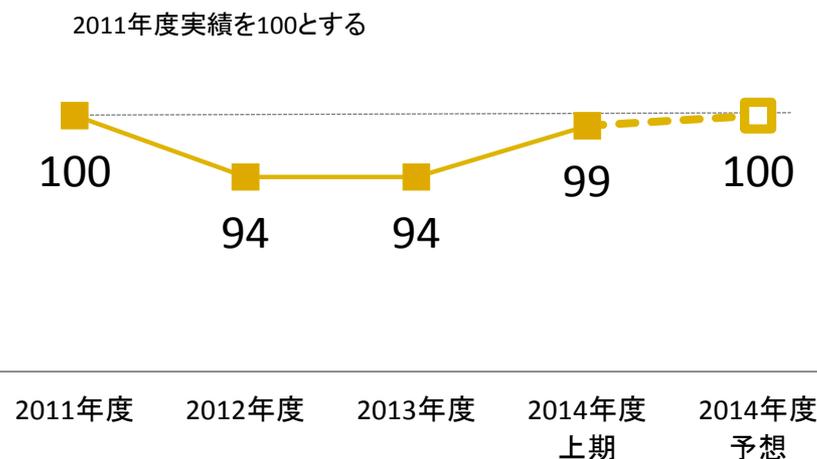
CBE販売数量(海外)



関連原料相場推移



CBE販売価格(海外)

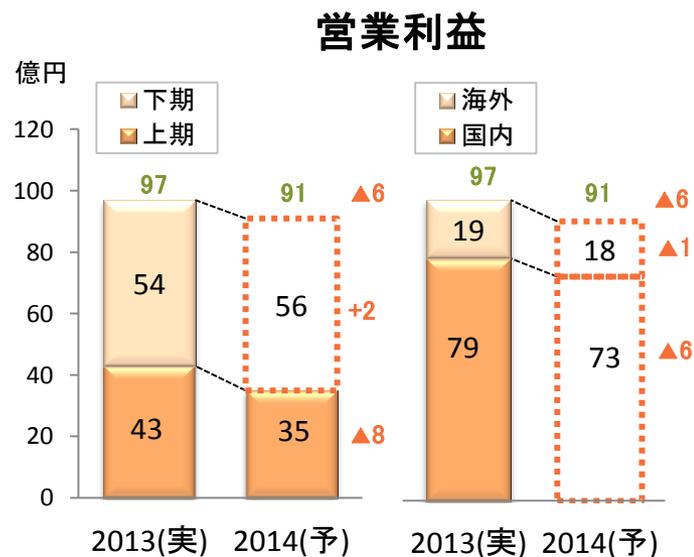
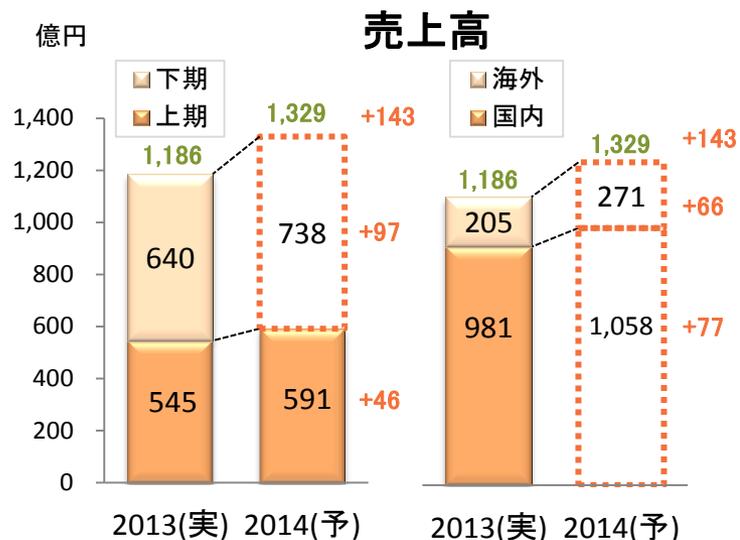


Ⅲ. 2014年度通期業績予想 製菓・製パン素材部門

連結	2014年度			通期対前年	
	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	591	738	1,329	+143	+12.1%
営業利益	35	56	91	▲6	▲6.1%

下期

- 国内
市場ニーズに合った機能性チョコレートを拡充し
拡販強化。
市場が伸びている中食・外食クリームへの拡販。
- 海外
製菓3品の販売は好調。
インドネシアの業務用チョコレート、東南アジアのクリーム、
中国のマーガリン・ショートニング・フィリングの販売増加
に取り組むが、調製品の減益が響く。

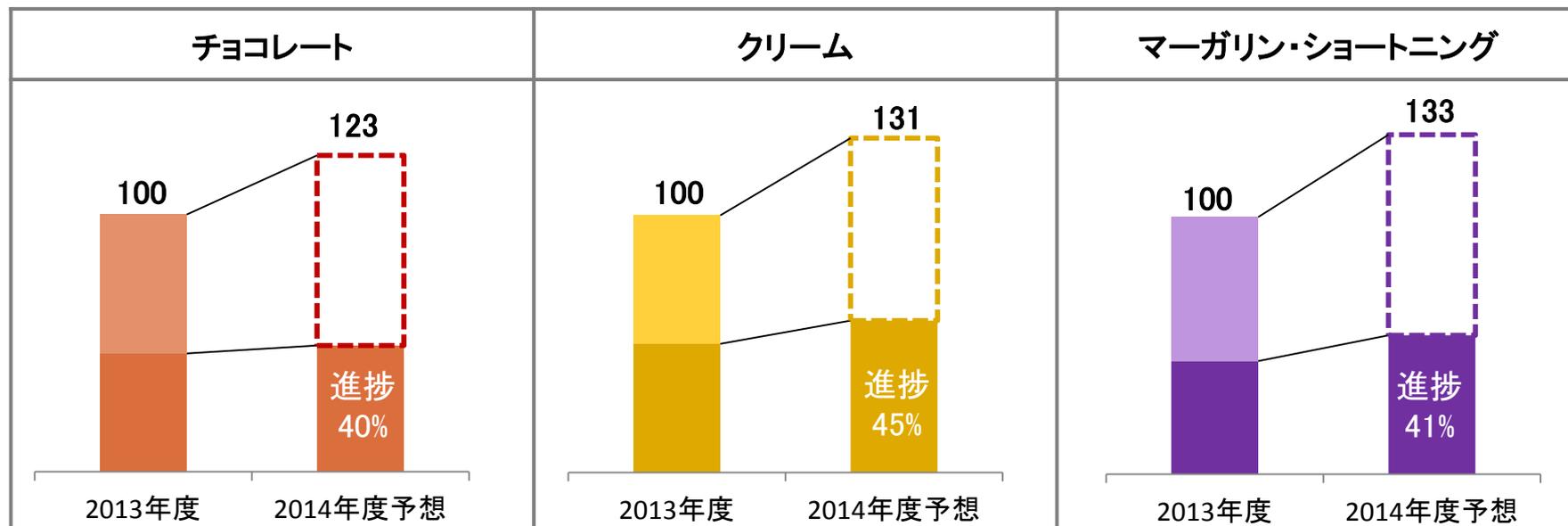


Ⅲ. 2014年度通期業績予想

製菓・製パン素材部門 下期ポイント【アジア製菓3品】

- チョコレートは中国の伸びが鈍化しているが、下期挽回に努める。
- 中国チョコレートを除く製菓3品の販売は前年を上回っており、計画達成を目指す。
- クリーム・マーガリン・ショートニングは販売好調を受け生産稼働率が上がっており、生産能力増強を検討する。

製菓3品 拡販進捗(数量)

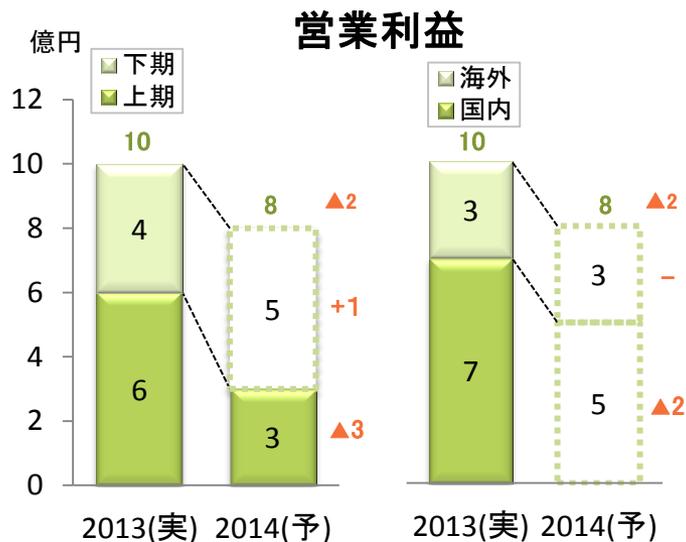
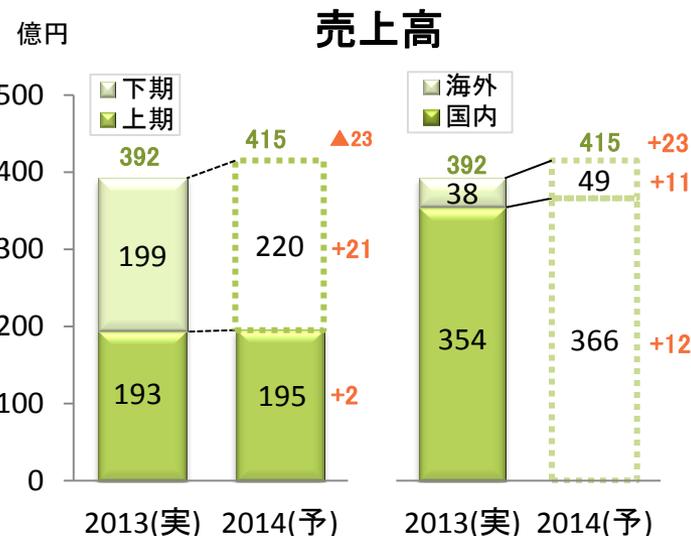


Ⅲ. 2014年度通期業績予想 大豆たん白部門

連結	2014年度			通期対前年	
	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	195	220	415	+23	+5.9%
営業利益	3	5	8	▲2	▲20.0%

下期

- 国内
大豆たん白素材の採算改善、および大豆たん白機能剤、大豆たん白食品の拡販に取り組む。
- 海外
中国の健康訴求市場等での拡販に注力。



大豆たん白部門 下期ポイント【事業構造改革】

大豆たん白事業の構造改革 《重点施策》

1 粉末状大豆たん白（分離大豆たん白）事業の再構築

- ・ 生産拠点の再編
- ・ アライアンス戦略の探索加速

2 大豆加工食品事業の再構築

- ・ 生産拠点および生産ラインの再編
- ・ アライアンス戦略の探索加速

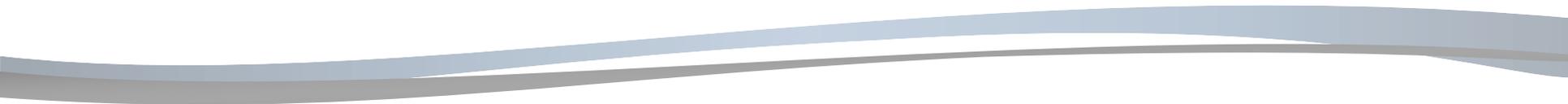
3 大豆ルネサンスの強力推進

- ・ 「まめプラスカフェ」開催による大豆製品の浸透度アップ
- ・ U S S 製品および大豆ミート製品の採用頻度の着実な増加

Ⅲ. 2014年度通期業績予想 設備投資について

- 2014年度は計画通り120億円の投資実施の見込み。
事業成長のために必要な投資を積極的に実行していく

	2014年度 上期実績	2014年度 通期計画	主な投資内容
単体	28	55	関東工場 業務用チョコレート生産設備増設 USS工場 生産能力増強 油脂精製 再構築
グループ 会社	14	65	米国 油脂精製能力増強 中国 油脂充填ラインの拡充 マレーシア 分別設備増強 シンガポール アジア研究開発センター建設
計	42	120	



IV. 当社の取組について

IV. 当社の取組について

2016年 グローバル経営体制確立に向けて

エリア統括機能の強化

- ・東南アジア・中国・欧米の各エリアへの権限委譲による経営スピードアップ
- ・マーケット視点で地域軸を強化
- ・「コスト」「スピード」「現地化」をキーワードにグローバル経営体制を構築

中国・アジア事業の強化

- ・アジア研究開発センター設立(シンガポール 2015年3月予定)
- ・中国地域統括会社の設立準備(2015年予定)

- ・新市場開拓のため生産能力増強が必要であり早急に検討
 - ・インドでの合弁会社稼働(2015年夏稼働予定)
 - ・中国華南新工場の設立準備
 - ・タイチョコレート新工場の設立準備
 - ・製菓・製パン素材生産拠点の設立準備

グローバル人材の育成

- ・グローバルに活躍できる人材の創出
- ・日本での外国籍社員の採用
- ・現地採用社員の登用

IV. 当社の取組について

欧州 チョコレート事業

フジオイルヨーロッパのチョコレート事業について

フジオイルヨーロッパ(ベルギー)において
2006年11月より業務用チョコレートの製造販売を開始

マーケットに密着した製品により、本年度(2014年度)、
フジオイルヨーロッパでの業務用チョコレート事業の
初めての単年度黒字化達成の見込み

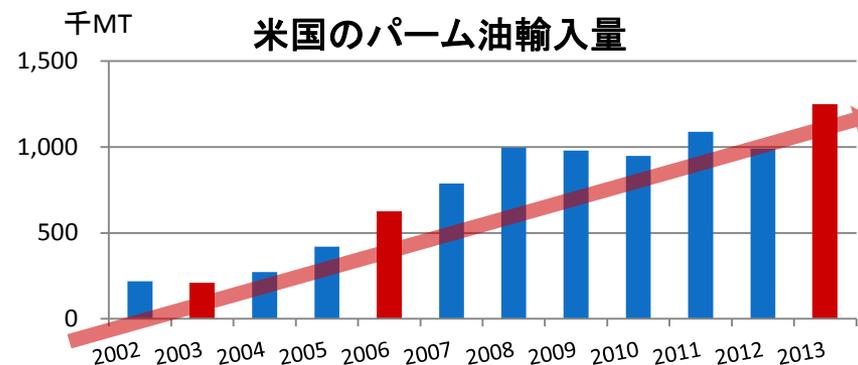
(注) 当該業務用チョコレート事業も含めて
フジオイルヨーロッパの事業部門セグメントは
油脂部門に含めております。

IV. 当社の取組について

米国 油脂精製能力増強

投資の目的

米国では健康に配慮した食用加工油脂の需要が増えており、現地の外食産業向けに増加する販売に対応するため



2003:FDAによるトランス酸含有率の表示義務公示
 2006:FDAによるトランス酸含有率の表示義務開始
 2013:FDAによるトランス脂肪酸の段階的禁止を発表

場所

フジベジタブルオイル
 (米 ジョージア州)

設備概要

米国での精製能力を
 約2倍に引き上げる

稼働予定

2015年1月

投資額

約14億円

IV. 当社の取組について

関東工場 業務用チョコレート生産設備建設

投資の目的

業務用チョコレートの新たなニーズに応え、
チョコレート事業の更なる基盤強化を目指すため

場所

関東工場内(茨城県笠間市)

設備概要

業務用チョコレート生産設備

稼働予定

2015年11月

投資額

約24億円



IV. 当社の取組について

USS工場 生産設備増強

概要

USS製法による「プレミアム豆乳」の更なる拡販に向け
生産設備を増強、キャパシティを倍増



場所

阪南事業所内
(大阪府泉佐野市)

設備概要

USS豆乳生産設備

稼働予定

2015年春

キャパ
シティ

2014年現在 3,600t
増産後 7,200t

IV. 当社の取組について 大豆ルネサンス①

●まめプラス推進委員会の発足

世界で初めて成功した「大豆」本来のおいしさを引き出す新製法(USS製法)によって生まれた『プレミアム豆乳』を食材として活用し、おいしく、たのしく、ヘルシーに「まめをプラス」した生活を推進します



<http://www.mameplus.jp/>

2014年11月現在の参画企業・団体



**まめプラスの取り組みにより
大豆の新しい楽しみ方が拡大中!**

IV. 当社の取組について 大豆ルネサンス②

まめプラスの「ことづくり」

●「まめプラス月間」の制定



●ミラノ博での紹介

2015年開催のミラノ国際博覧会(万博)のテーマは、「地球に食料を、生命にエネルギーを」。日本の食品加工技術の1つとしてUSS製法が紹介されます。
(http://www.expo2015.jp/foodculture/c_block/14)

●まめプラスカフェ第2弾開催(10月) 都内34店舗で展開



海外への広がり ニューヨークでのレストラン展開



NY KOA (Wakiya)



Bouley(ニューヨークNO.1フレンチ)



二つとない、をつくる。

 不二製油

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、
実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。